Logi Recover

GETTING STARTED GUIDE

Logi Recover の始め方

壊れたUSBメモリーや、誤って消してしまったファイルを、
インターネットに一切つながずに、自分のPCだけで取り戻す。

完全オフライン　無料　読み取り専用で安全

こんな経験、ありませんか？

Logi Recover は、こんな「困った」を解決するために作られました。

「フォーマットしてください」

USB メモリーや外付けHDDをつないだら、突然そう表示されて中身が見えなくなった。

ゴミ箱を空にした直後に気づいた

大事なファイルを消してしまった…と気づいたのは、ゴミ箱を空にしたあとだった。

復旧ソフトにファイルを預けたくない

仕事の資料や家族の写真を、よく分からない海外サービスにアップロードするのは不安。

専門ソフトは操作が難しそう

復旧ツールは玄人向けの黒い画面ばかりで、間違って余計にデータを壊しそうで怖い。

ABOUT

Logi Recover とは

ファイルシステムの破損や誤削除で見えなくなったファイルを、USBメモリー・SDカード・HDD・SSD から探し出し、別の保存先に取り戻すための Windows 向けアプリです。

できること

- フォーマットや破損で見えなくなったファイルの復旧
- ゴミ箱を空にした後の削除ファイルの復旧
- USBメモリー・SDカード・外付け/内蔵HDD・SSD に対応
- FAT12/16/32・exFAT・NTFS に対応

対象外のこと

- 基板故障・異音などの物理的な故障（専門業者へ）
- BitLocker 等で暗号化されたボリュームの解読
- 業務用フォレンジック（証拠保全・レポート出力）
- OS 起動領域（MBR/GPT）そのものの修復

WHO IS THIS FOR

こんな方におすすめです

専門知識がなくても迷わないよう設計されています。フォレンジックや業務利用は対象としていません。

自宅やSOHOでPCを使う方

USBメモリー・SDカード・外付けHDDを日常的に使っていて、いざという時のために備えたい方。

ITに詳しくない方

「セクタ」「クラスタ」などの専門用語が分からなくても、次に何をすればよいかが画面に出ます。

ファイルの中身を外部に出したくない方

業務資料や家族の写真など、他人やクラウドに渡したくない機密ファイルを扱う方。

「フォーマットしてください」と出て困った方

エクスプローラーでドライブが開けなくなり、何から手を付けてよいか分からない方。

削除に気づいたばかりの方

ゴミ箱を空にした直後、Shift+Delete で消してしまった直後など、できるだけ早く動きたい方。

（対象外）業務フォレンジック用途の方

証拠保全・チェーンオブカスタディが必要な業務調査には、専用ツールをご利用ください。

WHY LOGI RECOVER

既存ツールとの違い

無料の復旧ツールは数多くありますが、それぞれに一長一短があります。

	PhotoRec / TestDisk	Recuva	Disk Drill / EaseUS 等	Logi Recover
料金	無料	無料版あり	有料 / 容量制限	**無料**
操作画面	文字だけの画面	分かりやすい	分かりやすい	**分かりやすい**
通信・クラウド送信	なし	製品による	製品による	**一切なし**
保存先の事故防止UI	自己責任	限定的	製品による	**同一ドライブは選択不可**
対応OS	Win/Mac/Linux	Windows のみ	Windows 他	**Windows**

ADVANTAGES

Logi Recover だからできること

「安全に」「分かりやすく」「無料で」使えることにこだわりました。

完全オフライン動作

起動から終了まで、インターネット通信を一切行いません。自動更新の確認やテレメトリもなし。

復旧元への書き込みゼロ

復旧元は常に読み取り専用で開きます。仕組みとして書き込みができないため、操作ミスでも壊れません。

保存先の事故を仕組みで防止

復旧元と同じドライブは、警告ではなく最初から「選べない」UIにして二次被害を防ぎます。

Cドライブの復旧にも対応

設定や履歴は既定でメモリ上にのみ保持。システムドライブ自身への書き込みを避けます。

TB級ディスクにも対応

大容量の外付けHDDでも、進捗・推定残り時間を見ながら現実的な時間でスキャンできます。

無料で使える

容量制限や機能制限を設けず、必要な復旧機能を無料で提供します。

BEFORE YOU START

使い始める前に

対応環境

- Windows 10 (21H2以降) / Windows 11 (x64)
- USBメモリー・SDカード・外付け/内蔵 HDD・SSD
- FAT12 / FAT16 / FAT32 / exFAT / NTFS
- ディスクイメージファイル（.img / .dd）も読み込み可

始める前に知っておくこと

- 物理ディスクへアクセスするため、管理者権限（UAC）が必要です
- 復旧したファイルの「保存先」に使う、別のドライブを用意してください
- BitLocker 等で暗号化されたドライブは復旧できません（検出のみ）
- 基板故障・異音などの物理障害には対応していません

HOW IT WORKS

基本の3ステップ

画面上部のステッパーが、常に「いま何をしているか」を教えてくれます。

STEP 1

① 対象を選ぶ

復旧したいUSBメモリーやHDDを一覧から選びます。読み取り専用で開くので中身は変わりません。

STEP 2

② スキャンする

クイック・ディープ・フルの3モードから選んでスキャン。進捗と検出件数がリアルタイムに分かります。

STEP 3

③ 復旧する

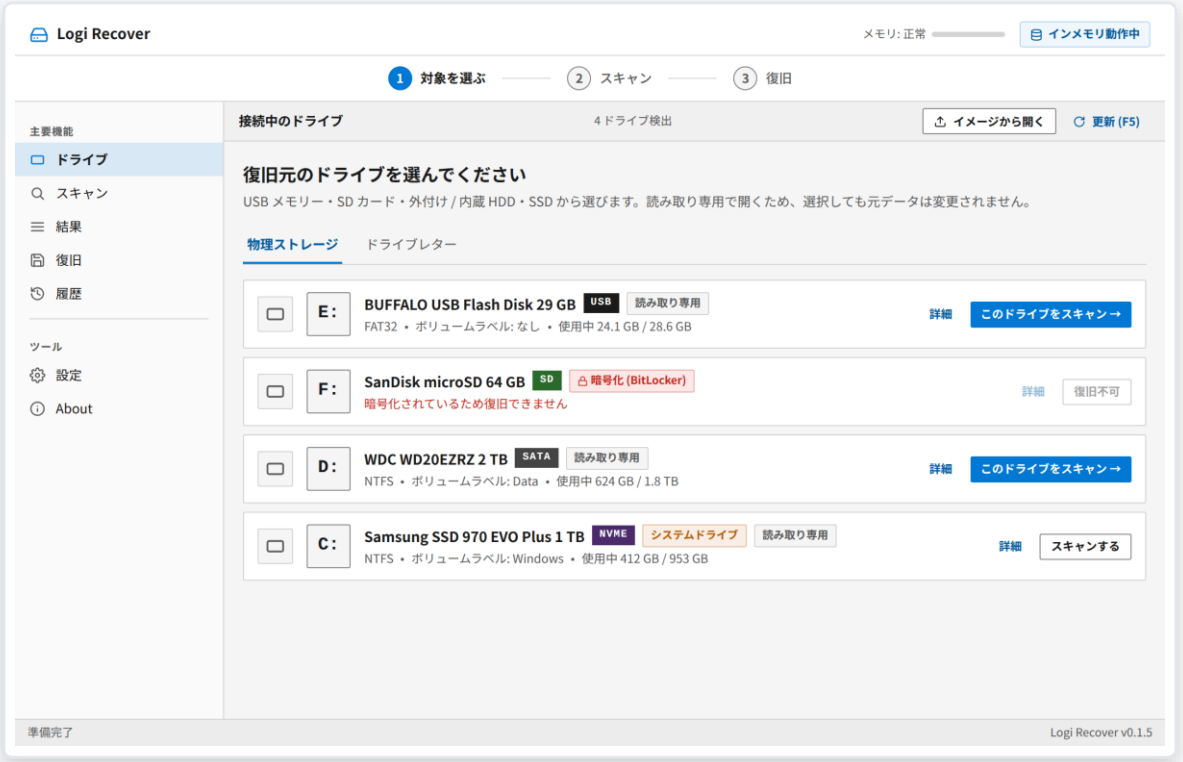
取り戻したいファイルを選んで、復旧元とは別のドライブに保存します。

STEP 1

ドライブを選ぶ

こんな時に　起動すると、まずこの画面が表示されます。復旧したいUSBメモリーやHDDを選びましょう。

- 接続中のドライブが、容量やファイルシステムと一緒に一覧表示されます
- 暗号化されたドライブには印がつき、最初から選べないようになっています
- システムドライブ（C:）にも「システムドライブ」の印が付き、安心して扱えます
- USBメモリーを後から挿した場合は「更新」ですぐ一覧に反映されます



ドライブ選択画面

STEP 2

スキャンする

② スキャン

こんな時に　迷ったら「フル」を選べば、名前付きのファイルとカービング検出の両方を試せます。

クイック

- 削除された直後のファイルを高速に検出。元のファイル名やフォルダも分かります。

ディープ

- ディスクの中身を先頭から読み、形式の目印から復旧候補を探します。フォーマット後にも有効。

- スキャン中はいつでも中断・再開できます

スキャンモードの選択画面

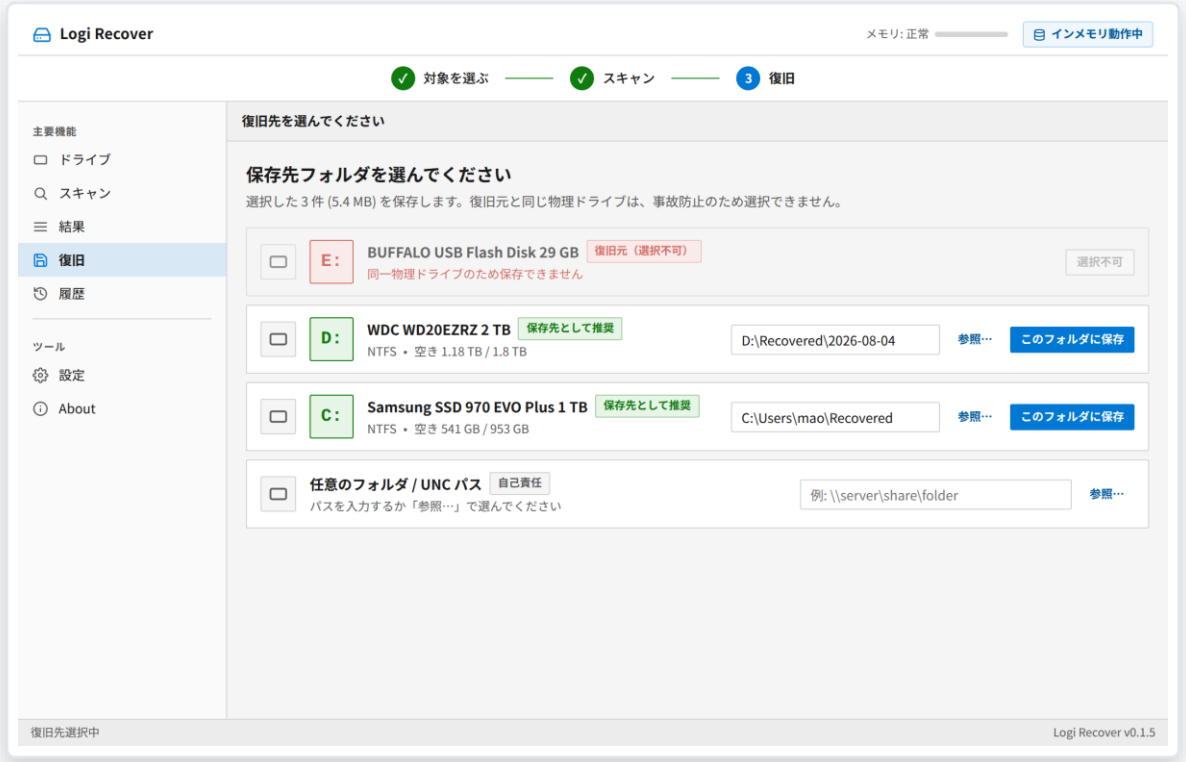
STEP 3

復旧先を選んで復旧する

③ 復旧

こんな悩みに
「うっかり復旧元に上書き保存してしまい、他のファイルが復旧できなくなった」という事故は、既存ツールでも起こりがちです。

- 復旧元と同じ物理ドライブは、警告ではなく最初から選べません（赤色）
- 安全な保存先には、はっきりと緑色の印がつきます
- チェックを付けたファイルをまとめて保存できます
- 1ファイルずつ安全に書き込むため、途中で電源が落ちても壊れません



復旧先の選択画面（赤 = 選択不可、緑 = 安全な保存先）

TROUBLESHOOTING

うまくいかない時は

Q ドライブが一覧に出てこない

USBメモリーを挿し直してから「更新」を押してください。管理者権限で起動していないと物理ドライブが見えないことがあります。

Q 「暗号化されています」と出た

BitLocker等で暗号化されたドライブは、鍵がないと中身を読めないため復旧対象外です。Windows側でロックを解除してから再度お試しください。

Q スキャンに時間がかかる

ディープスキャンはディスク全体を読むため、TB級では数時間かかることがあります。中断・再開ができるので、無理せず分割しても大丈夫です。

Q 一部のファイルが復旧できなかった

該当箇所が物理的に読めなかった可能性があります。完了画面から「失敗分を再試行」できるほか、状態バッジで見込みを事前に確認できます。

NEXT STEP

もっと詳しく知りたい方へ

このガイドは最初のとっかかり用です。すべての機能の詳しい使い方は「Logi Recover ユーザーマニュアル」にまとめてあります。

マニュアルで分かること

- 結果の絞り込み・プレビュー・復旧見込みの見方
- 復旧履歴やスキャン結果の保存・再開
- 壊れかけのディスクをイメージ化してから復旧する方法
- 作業ドライブを使ってデータを永続化する方法

覚えておきたい合言葉

- 迷ったら「フル」スキャン
- 保存先は必ず「別のドライブ」
- 赤は危険、緑は安全
- 分からない用語は画面の説明を確認

あなたのファイルは、あなたのPCの中だけで。

Logi Recover は、これからも完全オフラインで、無料で、安全第一で機能を提供していきます。
まずは「ドライブを選ぶ」画面から、始めてみましょう。

詳しい使い方は　Logi Recover ユーザーマニュアル